

第6学年社会科学学習指導案

1 単元名 新しい日本の出発 (10時間扱い)

2 本時の学習 (4/10)

(1) ねらい 国民精神総動員埼玉県本部が発行したちらしや写真週報などの資料を活用して、戦争中の国民生活について調べ、国民が大きな被害を受けたことに気づく。

(2) 展開

| 学習活動・学習内容  | 資料  |
|--|---|
| <p>文書館収蔵資料を使って、戦争中の国民生活について調べる。</p> <p>[ 国民精神総動員埼玉県本部発行ちらし ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標語みたいなものがいくつもある。           <ul style="list-style-type: none"> <li>「理屈はやめてまづ実行」「食糧確保は銃後のつとめ」</li> <li>「家中揃ってニコニコ節米」など</li> </ul> </li> <li>・ 「見易き場所にお貼り下さい」と書いてあるので、どこかに貼って、いつも見られるようにしたのだろう。</li> <li>・ 難しい言葉がある、どんな意味なのだろう。           <ul style="list-style-type: none"> <li>例) 国民精神総動員：全国民が一致して、国のために尽くす。大政翼賛会に引き継がれる。</li> <li>銃後：戦時における一般国民及び国内。</li> <li>代用食：米穀節約の目的で米食の代わりにする食料品。</li> <li>供米麦：米や麦を供出する(国などに差し出す)こと。</li> <li>貯蓄：お金を貯めること。軍費に充てる。</li> </ul> </li> </ul> <p>戦争を続けるために、国民は戦争に積極的に協力しなければならなくなってきた。</p> <p>[ 写真週報 第二百六十八号 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械みたいなものがあって、何かの工場のようなだ。</li> <li>・ 若い女の人が、何かを教わっているようだ。           <ul style="list-style-type: none"> <li>資料解説で補足説明する。</li> </ul> </li> <li>・ 若い女の人が、機械工をめざして訓練している。</li> </ul> <p>戦争が進むにつれて、男の人は戦場に行き、工場で働く人が不足したので、女の人も働くようになってきた。</p> <p>戦争中、国民はどのように暮らしていたのか、教科書や資料集を使って調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ほしがりません勝つまでは」という標語があった。</li> <li>・ 都市の小学生は、疎開していた。</li> <li>・ 米や衣料が切符制になった。</li> <li>・ 中学生が軍需工場で働くようになった。</li> </ul> <p>戦争が長く続くと、国民は戦争に積極的に協力しなければならなくなり、ものはいつも不足し、自分たちの生活は苦しくなってきた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民精神総動員埼玉県本部発行ちらし(米穀食料需給関係書類のはさみこみ資料) (伊達家135)</li> <li>・ 写真週報 第二百六十八号 (山口氏収集5)</li> <li>・ 教科書資料集</li> </ul> |